

馬込から気持ちのよい風が吹いてくる

# 萬福寺だより

第38号

2021年春号／no.38／令和3年3月1日発行

発行／曹洞宗 萬福寺護持会

HP <http://www.manpukuji.or.jp>

## お話の出来る憩いの場がお寺です

萬福寺住職 安本 由道

『高齢者の孤立 徐々に増加』日本では社会的に孤立した人の割合が世界でも突出して多いとされている。(今年1月20日東京新聞夕刊の記事)。孤立による孤独死が年々増加傾向にあるようですが、人と社会との希薄化が要因とされているようです。一人で悩み苦しむ孤独感へと繋がってしまいます。そこでお寺として何か出来ることは？

「お寺にお越しくださる方は皆『菩薩』なのだから、どんな方にもお寺にお越し頂きたいという思いを持ち相手を思い遣ること、和合(一緒に向かい寄り添うこと)の心を根底に据えてゆかねばならない。」と師匠から教えられたことがあります。お寺はご先祖様が当山に祭られてなくても、お互いに話し合いの出来る憩いの場所です。お寺に来るといろいろな人生を歩んだ人との話し相手だつて出来るでしょう。お話の中で共有して解決の糸口が見つかるかもしれません。孤独のほろが世話無くて良いと思う方も居られますが、独りよりも安心度が増えると思います。趣味の合う同士でお寺に来る機会もつくればよいではないですか。少しでも「和合」が出来ればよいと思います。

注…「菩薩」とは自らの不安、迷いを悟ろうと求める一方、仏道を成就させようとする者。

## 春彼岸会法要 3月20日(土) 春分の日

午後1時から法要を営みます——お気軽にご参会ください

当日は席間をあけ、換気に注意しながら、時間を短縮して法要のみを執り行います。皆様には体調にご留意され、無理をなさらず、健康第一でご判断いただき、ご参会くださいますよう、ご案内申し上げます。(写真は昨年の様子です)



### 開催行事報告

## 正月大般若会御祈祷諷経を1月2日、3日に開催

年明けの2日、3日にわたって新年の大般若会御祈祷諷経が、御本尊「阿弥陀如来三尊仏」の御開帳のもと、厳かに執り行われました。今年一年が皆様にとって良い年でありますよう祈願して大般若経が転読され、法要後に御札が配られました。

